

## がくしゅうかだい（2ねんせい）

【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしよ42～47ページ）にとりくみます。

- ① きょうかしよ42～47ページを声に出して読みます。
- ② 「たんぽぽのちえ」をべんきょうしてみて、「たんぽぽってすごいな。」  
「たんぽぽってかしこいな。」と思ったところを、まとめます。  
まとめるときに、つぎの2つのことをかんがえながら書きましょう。

- 1) たんぽぽがしていること（ちえ）をわけといっしょに書きぬきます。  
※「かきぬく」というのは、書かれている文のことばをかえずに、そのまま書くことです。
- 2) じぶんが思ったことも書きます。  
「～が、ふしぎだと思いました。」「～が、おもしろいと思いました。」「～のことを、もっと知りたくなりました。」などのことばを入れて書いてみましょう。

※きょうかしよ49ページ下を見ながら、書いてみましょう。

◆「じゅんじょ」（きょうかしよ51ページ）にとりくみます。

- ① 書くときも話すときも、じゅんじょをかんがえることがだいじです。じゅんじょには、どんなしゅるいがあるのか、きょうかしよ51ページを読んで、たしかめましょう。
- ② あさおきてから、学校に行くまでにすることを、じゅんじょに気をつけて、話しましょう。

※あさおきてから、どんなことをするか思い出してみましょう。

（れい）わたしは、あさ6じ30ぷんにおきます。まず、かおをあらいます。  
つぎにふくにきがえます。そのあと、あさごはんを食べます。

◆あたらしいかん字「今(59ページ)」～「内(59ページ)」に、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「書きぬく」とは、教科書の文章の言葉を変えずに、一言一句抜き出すことです。基本的には一文（文頭から文末）で抜き出すことを指します。
- ・「じゅんじょ」（教科書P51）では、話すときや書くときに順序を意識すると伝わりやすくなることを学習します。どの順序で話したり書いたりしたらいいのかわからないときは、「朝起きてからのことを話してみたら」と声をかけてみてください。お子さんが「朝起きて、パジャマを着替えて…」のように話したら、「起きてからのことを時間の順序で話そうとしているね。」とほめてあげてください。

